

もりのにぎわい通信

2012年9月22日 定例活動報告

日時：2012年9月22日（土）9：00～16：00

場所：小山町 観音地

天候：晴 気温 24～26℃ 湿度 68% 風向 北東 風速 4m

参加者：20人：子供2人、大人18人（小山町・土地改良区11人）

■ 活動

9:00 集合 打合せ

除草作業の開始

水中ポンプの準備

10:00 苗木の植え付けと池の改修作業の開始

池の水を汲み出し

10:30 休憩

10:45 作業再開（千葉市環境保全課 千羽様現地見学・案内）

12:00 昼食（解散）

13:00 作業再開

15:30 後片付け

16:00 解散

■ 活動報告

本日のテーマは3つです。①雑草の刈り取り、②新しい苗の植樹7本、③ビオトープ修理の第二ステップ完成と盛りだくさんです。

雑草というテーマについては自然の圧倒的なパワーの前にただ驚くばかりです。8月の定例会は暑すぎるのでいつも抜いているのですが、これほどかというほど雑草が生い茂ってしまいました。土地改良区の方々が、いつもと違う自走タイプの刈払機という強力な新兵器まで用意してくださったのですが、雑草の圧倒的な量の前になかなか2ヘクタールを綺麗にするのは大変で半分かたづけたくらいでしょうか。もちろん、あの新兵器がなければ大変なことになっていたと思います。『放っておけばジャングルに吞まれてしまう』といった表現がわかるような気がします。我々は刈払機、今回は特に自走式の刈払機まで装備して、石油というエネルギーを使っているのにこれですからね。このような機械文明を使わずに農業を行うのは本当に大変だと思います。

今回の新しい苗は、姫リンゴ1本、ビワ2本、イチジク2本、カキ2本です。3年以上の大きな

苗ばかりで、姫リンゴなぞ小さな実がついていました。なぜかそれだけで楽しい気分になります。しかし、植えるのは大変でした。本来であれば、すべて雑草を綺麗にしたうえで植林すればよいわけですが、今日中には到底全部など無理なのが見えてきたので、まず候補地を決めその周辺だけに徹してきれいにすることにしました。やっと地面が見えるまできれいにしても、地面がクズの根が張っていて掘れなかったり、粘土質でカチカチにしまっていたりでなかなか掘れませんでした。7本を植え水を遣り終える頃にはもう昼になってしまいました。リンゴやビワ、イチジク、カキがたわわに実を付けて食べられる日が楽しみです。

『食べられるつながり』では、なんと自生のクリが見つかりました。千葉市環境保全課温暖化対策室の千羽さんが見学にこられ説明を聞いて回っている間に、マツの木の脇にクリが生えていて実がついているのを見つけてくださったのです。信じられないような話ですが、我々は誰もこのクリの存在を認識していませんでした。3年前の植樹祭に植えたマツの苗の脇にひっそり出てきていた苗ですがクリだなんて気が付かなかったものです。それが今回、小ぶりですが、しっかりイガグリがなっているのではないですか。たぶん鳥などの野生動物が運んだ種から発芽して自生したものなのでしょうが、何かの樹の苗が大きくなってきたけど、マツの苗に近すぎるので移そうか間引こうかなんて話題にした覚えがあります。イガグリが成って初めてクリだということに気が付いたわけで、ウツカリしたものです。それにしても、この苗を間引かなくてなくてよかった。そしてよく見れば、更にもう1本、マツとマツの間にイガグリをもったクリを見つけました。まったく自然の力には驚きです。

3つ目のテーマである池の修理は水中ポンプで池の水をかい出すところから始まりました。前回、魚達を移した後の池に、赤土粘土を30cmほど重ね底を固めた上に水を入れて養生しておいたものです。今日は、その赤土粘土の上に更に田圃の土を10cm～15cmほど塗り重ねるという作業です。田圃の土を鉄板の上でこねて一輪車で運び、池底に塗っていくという気の遠くなるような作業でした。足をとられるような土の粘りと重さに耐えて、暑い中を皆さん良く頑張りました。次はメダカやドジョウ、タナゴ、オイカワ、ゲンゴロウ、ウシガエル、オケラ達を自然に近い水草いっぱいの新居に移してやれるでしょうか！

(記録：金井章男)

■ 森もりあそび隊

食欲の秋、スポーツの秋。

涼しい風が心地よい季節、今回の森もりあそび隊のメンバーは運動会や大会行事等で、少し少なめ…。

ひたすら黙々と田んぼの土を練って、運び、池の下地を塗り付ける作業をこなす大人達を尻目に、あそび隊の隊員たちは、思い思いの時間を過ごす。

休憩の時間も何かの作業に没頭し、呼びかけても返事もそこそこ。「何をやってるんだろう？」と、思いながらも大人達の作業も続く。果たして、そこには「砂場アート」とでも呼ぶべき作品が完成されていた！

作者のR君とD君によると、初めは泥ダンゴを作っていたそう。それが、いつのまにやらニホントカゲの秘密基地に変わったらしい。(笑)

森の隊員は、自由奔放に素敵な遊び時間を使うのです。

(記録：石坂 淳)

.....

■池の仕上げ作業

9月の定例作業で終わらなかった池の改修作業を10月8日(月)に行いました。

人の力では、限界があったのでDNA繋がりの人(実家の兄)に来てもらって機動力をフルに生かしてもらうことに。作業の参加者は、中桐さん、石阪淳さん、大貴君、陸斗君、兄の加藤求と星野の6人でしたが、何とか池は完成しました。

水は、小高さんの井戸水を水タンクでもらいに行き、仮の生簀の水と合わせて流し込み、ブルーシートの生簀の魚は、大貴君と陸斗君に手伝ってもらって当日池に放しました。

翌日、魚の様子を見に行きましたが、浮いている魚は、いなかったのでホッとしました。出来上がった池に水を入れて、その日にすぐ魚を放すのは、ちょっと乱暴でしたが、作業が延び延びになってしまっは、と思い、一気にしました。一緒に池の周りに春になって咲くレンゲソウの種を蒔き、近くの農道から採ってきたミチシバとシロツメクサを植えました。

畔が崩れないうちに根付いてくれるといいと思っています。その時の写真の一部ですが添付してあります。時間がありましたら、様子を見に行ってください。

池の改修作業にかかわってくださった皆様、7月、9月、10月と3か月に渡っての暑い中での作業、本当にお疲れ様でした。作業途中で自分なりに体得したことがあります。生き物にいい環境とは、谷津田なんだと…。この3か月で、人工の池ですが、谷津田を造ったことになるのではないかと思います。

(記録：星野静枝)

■ お知らせ ホームページもご覧下さい→ <http://www.g-cycle.org/>

次回の定例活動は、10月27日(土)(雨天10月28日(日))除草作業と収穫祭(サツマイモと落花生の収穫)と道具の手入れを行なう予定です。お昼は、バーベキューと燻製(食材は各自で用意)をする予定です。ぜひ、ご参加とご協力をお願いします。



鉄板は田んぼの土をこねるため



田んぼの土に水を加えてこねる



泥を練って左官屋さんのよう



人手のいる作業で泥の重いこと



水を汲み出した池の底・赤土粘土で滑る



池の周りに田んぼの泥を塗っていきます。



鍬を横にして泥を伸ばすのだそうです。



土地改良区の皆さんに池の作業をお願いして！



体力づくりに持って来いの作業？



千葉県環境保全課千羽様現地見学



咲き始めたコスモスの花



植えて3年、栗がなりました。



バッタかな？





植樹したビワの木 (花芽が付いてる)



イチジクの木



ニホンアカガエル



ニホントカゲの秘密基地



秋の空（うろこ雲でしょうか？）



10/8（月）池の仕上げに取り掛かる



余った生糞（ブルーシートの水）の放水



井戸水を池に流し込む



魚を網ですくって池に放す



出来上がった池にカモ避けのテグスを張る